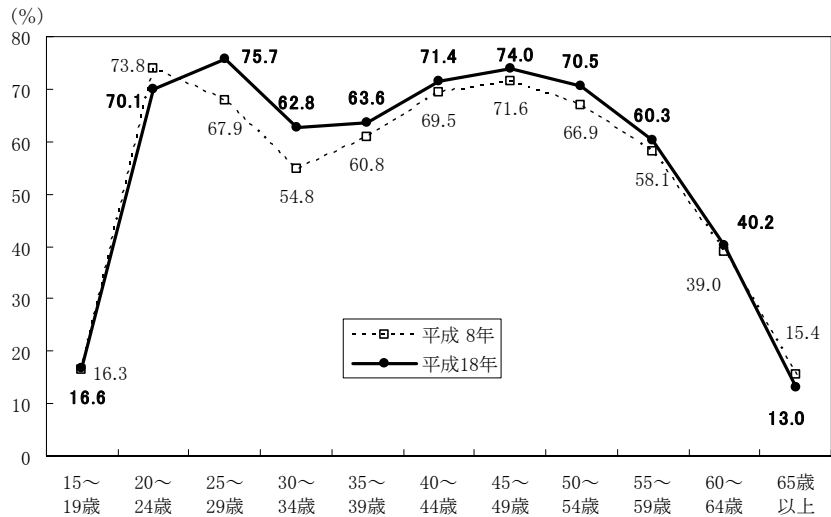
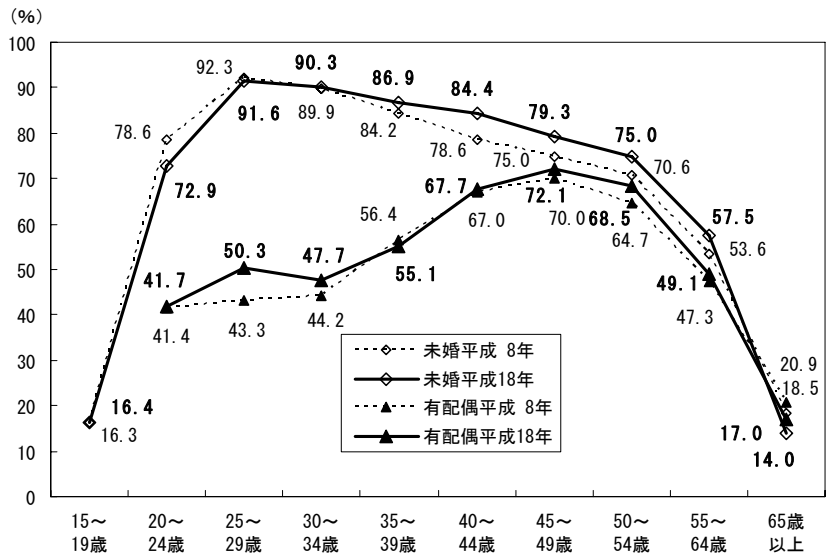


図表 1-1 女性の年齢階級別労働力率



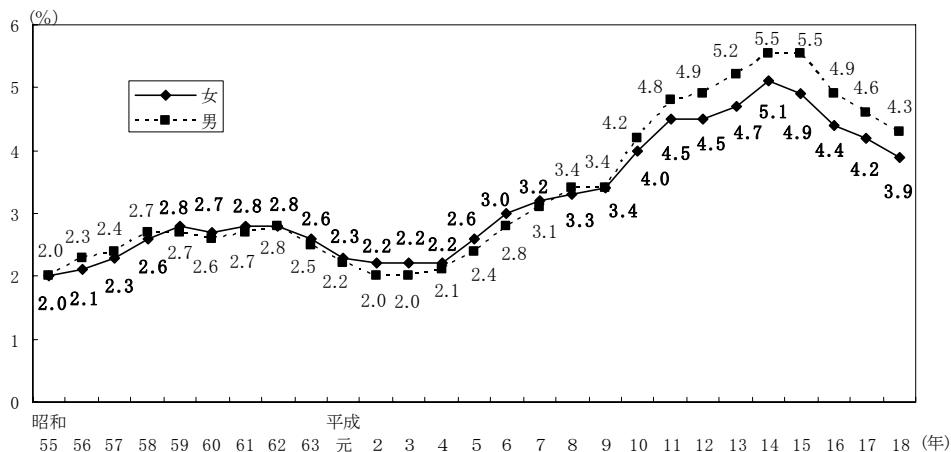
資料出所：総務省統計局「労働力調査」（平成8、18年）

図表 1-2 女性の配偶関係、年齢階級別労働力率



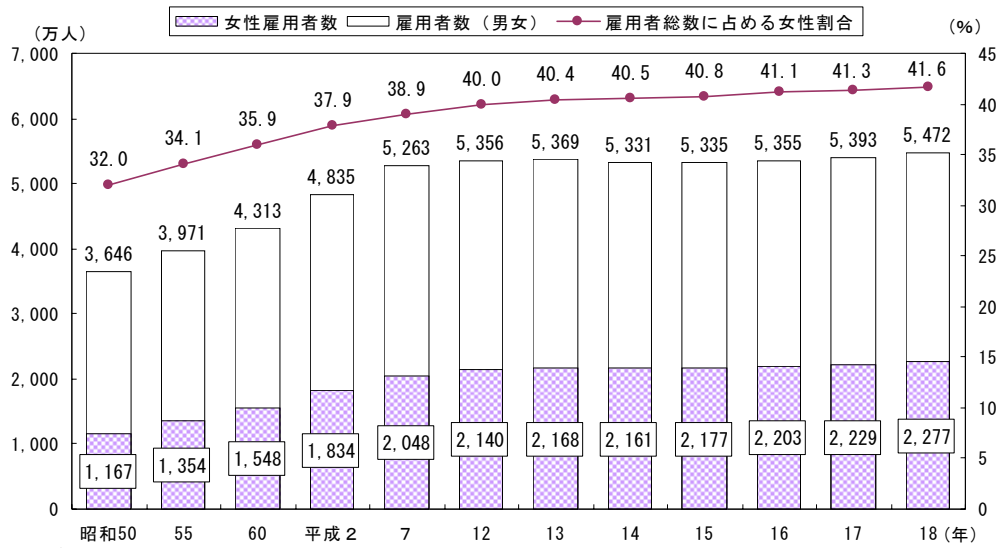
資料出所：総務省統計局「労働力調査」（平成8、18年）

図表 1-5 完全失業率の推移



資料出所：総務省統計局「労働力調査」

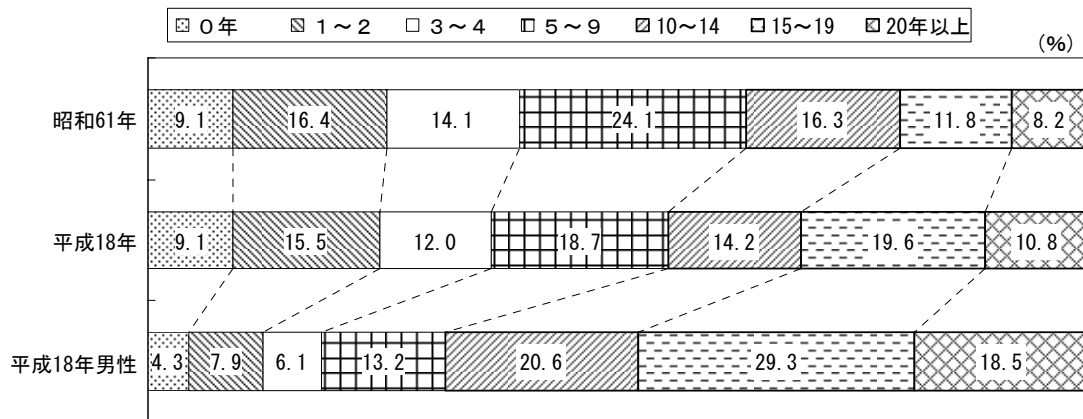
図表 1-8 雇用者数の推移



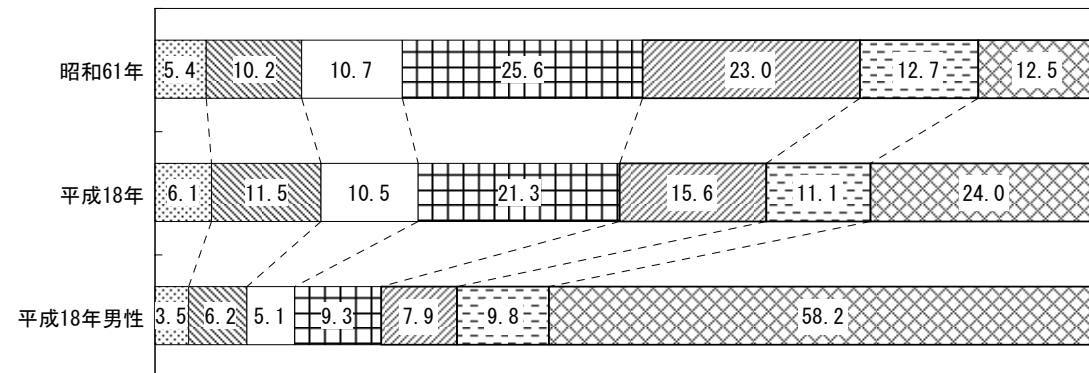
資料出所：総務省統計局「労働力調査」

図表 1-13 勤続年数階級別女性一般労働者構成比の推移

(35歳～44歳層)

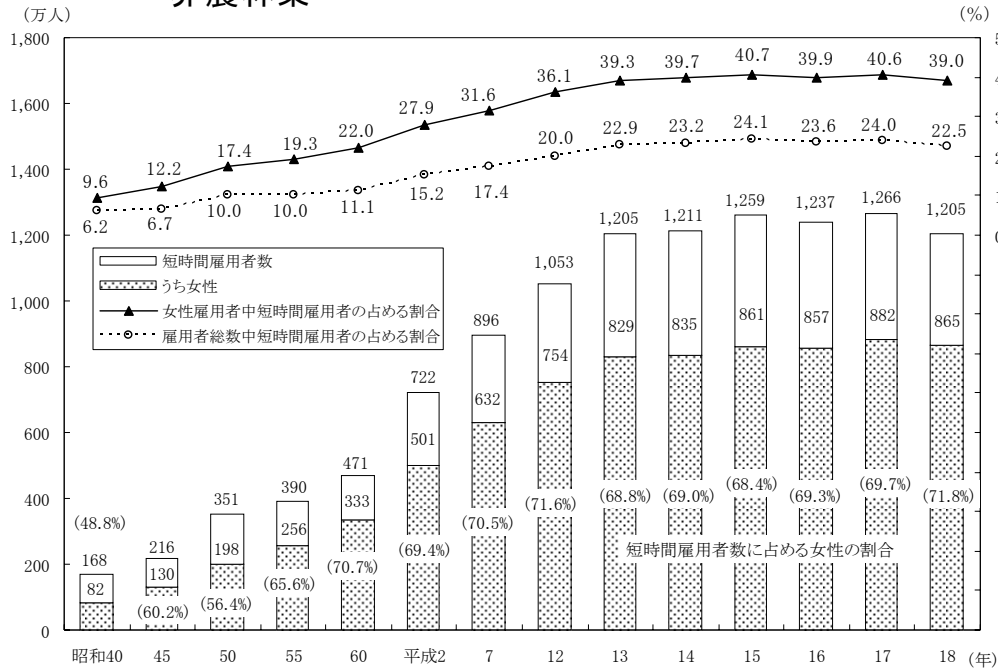


(45歳～54歳層)



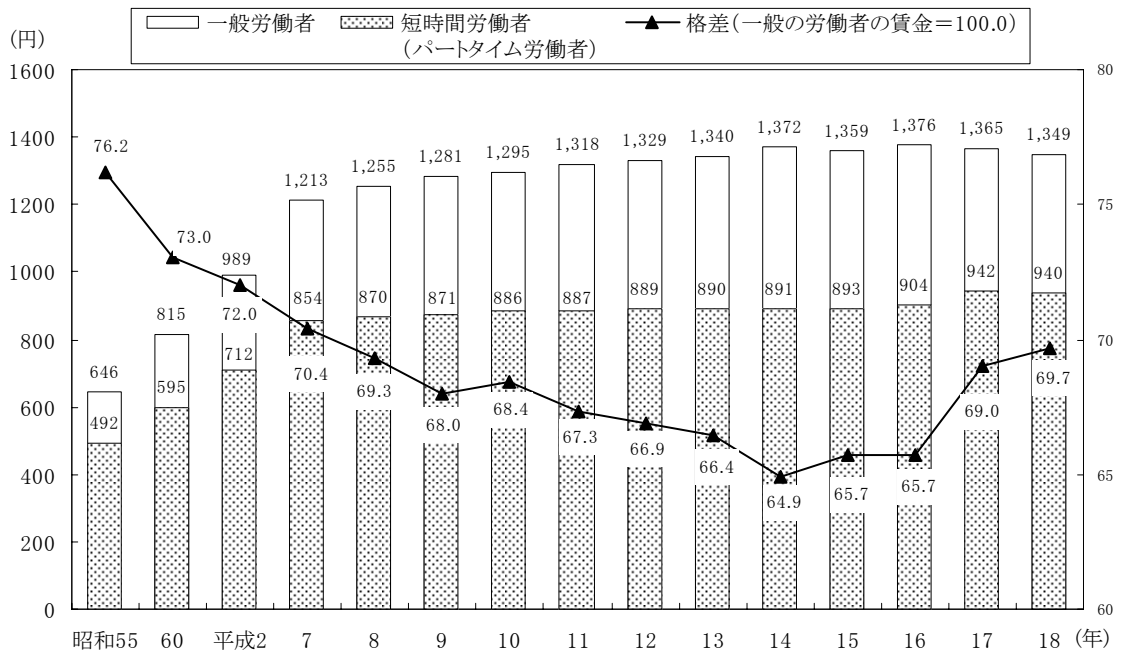
資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(昭和61、平成18年)

図表 1-23 短時間雇用者（週間就業時間 35 時間未満の者）数及び構成比の推移
— 非農林業 —



資料出所：総務省統計局「労働力調査」

図表 1-24 女性短時間労働者と女性一般労働者の賃金格差の推移



資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

注) 1 一般労働者の1時間当たりの所定内給与額は次の式により算出した。

$$1 \text{ 時間当たりの所定内給与額} = \text{所定内給与額} \div \text{所定内実労働時間数}$$

注) 2 平成16年調査までは、「短時間労働者」を「パートタイム労働者」と表記していた。